



平成22年度
予算案

一般会計

644億6,625万円

市制施行60周年を迎え、都市再生とコミュニティ創生を目指して、 持続可能な高環境・高福祉のまちづくりの推進を

平成22年度の市の予算案が、2月26日から始まった市議会定例会で審議されています。
新年度の予算案は、市民の皆様が未来に向けた安心と希望を持てるために、「セーフティーネット」、「都市再生」、「子育て支援」、「コミュニティ創生」の4つの施策を中核に据えて編成しました。
市制施行から60周年の節目の1年を、「持続可能な高環境・高福祉のまちづくり推進に向け、果敢に挑戦した年だった」と記憶に残る年にできるよう、さまざまな取り組みを進めます。

2・3面に関連記事

新年度の施政方針(概要)



三鷹市長
清原慶子

平成22年度は、厳しい経済状況を反映して、三鷹市においても市税収入が大きく落ち込み、平成15年に私が市長に就任して以来、最も厳しい財政状況の中での予算編成となりました。私は、三鷹市が、まずは市民の皆様の暮らしを守り安心をもたらす「セーフティーネット」の役割を果たすために、今まで以上に歳出の無駄を徹底的に排し、福祉、教育や不況対策などの分野に少しでも還元できるよう予算編成を進めました。

私は、平成22年度を、「市制施行60周年を迎え、都市再生・コミュニティ創生を目指して、持続可能な高環境・高福祉のまちづくりを」進める年度と位置づけ、今年度の市政運営の中核的な施策として、「セーフティーネット」、「都市再生」、「子育て支援」、「コミュニティ創生」の4つの施策を位置づけました。

1 セーフティーネットの強化

第1の「セーフティーネット」強化の施策は、市民の命を守り、市民が地域で孤立することなく希望を持って暮らせることを目指すものです。具体的には、離職者への生活支援として住宅手当の支給や就労支援、母子加算の支給継続をはじめとして、雇用に関しては、東京都と連携して24件の緊急雇用創出事業を実施するとともに、市内中小企業の経営を支援するための特定不況対策緊急資金融資あっせん制度を延長して実施します。また、三鷹むらさき商品券事業を前年度と同様の発行総額3億3千万円の規模で実施します。



三鷹むらさき商品券

2 都市再生の取り組み

第2の「都市再生」の施策は、具体的な取り組みとして、東京多摩青果三鷹市場跡地(写真)において、独立行政法人都市再生機構と連携して「防災公園街区整備事業」に向けた用地取得等に取り組みます。「防災拠点」であるとともに、健康・スポーツ施設を中心とした「元気創造拠点」の機能を果たす施設の整備に向けて、「市民センター周辺地区整備基本プラン」を踏まえた基本設計を行います。

また、鷹南学園東台小学校、三鷹中央学園第三小学校及び鷹南学園第五中学校体育館の建て替えを含む学校施設の耐震化を進めるとともに、玉川上水に架かる「新橋」の架け替えに取り組み、橋の安全度を高めます。



東京多摩青果三鷹市場跡地

3 子育て支援施策の推進

第3の「子育て支援」の施策は、地域と社会全体で子育てを支える取り組みを拡充するものです。具体的には、中央保育園・母子生活支援施設三鷹寮の建て替えを完了させて定員増を図り、複数の認可外保育所、事業所内保育所設立を支援するとともに、認可外の保育施設を利用している児童の保護者に対して保育料を助成して経済的負担を軽減します。また、延長保育実施園を1園拡充し、すべての市立保育園での延長保育の導入を完了します。

また、子育て支援施策と児童青少年施策を総合的かつ重点的に推進するために、新たに「子ども政策部」を設置することとし、条例の改正を提案しています。



ちどり子ども園の園児たち

4 コミュニティの創生

第4の「コミュニティ創生」の施策は、市民が住み、働き、学び、活動する場であるコミュニティにおいて、多様な課題を、新たな共助や協働で解決するあり方の創生に取り組むものです。町会・自治会とNPOとの連携を奨励する「がんばる地域応援プロジェクト」を継続するとともに、地域ケアネットワークの4箇所目の設立に取り組みます。また、NPO法人花と緑のまち三鷹創造協会の活動を支援し、市民の交流と協働によるふれあいを進めます。さらに、コミュニティ・スクールは、公立学校を場とするコミュニティ創生の取り組みでもあり、今後も検証しつつ進めます。



花と緑の広場

「市制施行60周年」では、記念事業を華美なものにせず、各事業の目的と趣旨に沿った実質的で簡素な事業の実施によって、市民の皆様の元気と地域の活力を呼び起こしたいと考えます。これからの「三鷹市の未来像」を描き、取り組みを着実に進めることが、三鷹にふさわしい「未来志向」の記念事業のあり方であると考えます。

もうひとつの「三鷹市の未来像」を描く取り組みとして、次の総合計画となる第4次基本計画の策定に向けて、市民参加の取り組みをスタートします。これまでの市民参加の経過と築かれてきたネットワークを活かすとともに、住民協議会に加えて市民協働センター、三鷹ネットワーク大学等の機能を最大限に活かしていきたいと考えます。

三鷹市は、都市再生や人材育成など「未来への投資」を重点的に進めてきました。そして今、直面する諸課題に果敢に挑戦し、都市再生とコミュニティ創生を目指して、持続可能な高環境・高福祉のまちづくりを進め、「三鷹市の未来」を切り拓いていくために、三鷹の「市民力」と「自治の力」を大いに活かして、「三鷹市の未来」を切り拓いていきたいと決意しています。

後年、「市制施行60周年」の年が、持続可能な高環境・高福祉のまちづくりの推進のために、果敢に挑戦した年であったと思い起こせる「記憶に残る年」にいたしましょう。

私は、本年度も、誠心誠意、全力で市政運営を行い、「協働・感動・躍動が息づく、輝くまち三鷹」の創造に取り組んでまいります。

をお知らせします

平成22年度の**主な事業**

安全安心のまちづくりプロジェクト

- ・ 新型インフルエンザ対策の推進
1,465万2千円
- ・ 家具転倒防止器具の設置普及
2,983万7千円



新型インフルエンザ対策備蓄品

地域ケア推進プロジェクト

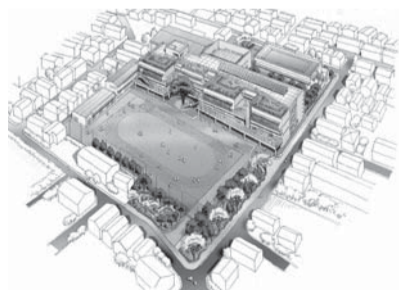
- ・ 地域ケア推進事業の拡充 1,438万4千円
- ・ 地域包括支援センター井の頭支所(仮称)の開設 1,130万円
- ・ 介護老人福祉施設みたか紫水園(仮称)整備費の助成 1億5,000万円
- ・ 生活保護受給世帯の自立促進事業の実施 2,647万5千円
- ・ 地域包括支援センターの充実 1億7,814万7千円



みたか紫水園(仮称)の整備後のイメージ

都市の更新・再生プロジェクト

- ・ 市民センター周辺地区整備に向けた取り組み 1億5,672万2千円
- ・ 中央保育園および母子生活支援施設三鷹寮の建て替え 1億7,838万2千円
- ・ 南浦西保育園の建て替え 1億3,189万7千円
- ・ 新ごみ処理施設の整備 6億6,919万9千円
- ・ 安全安心な橋梁の整備 1億3,175万4千円
- ・ 鷹南学園東台小学校の建て替え 11億8,314万1千円
- ・ 三鷹中央学園第三小学校の建て替え 4,234万円
- ・ 鷹南学園第五中学校体育館の建て替え 3億7,507万7千円
- ・ 「下水道再生計画(下水道地震対策整備計画)」の推進 1億8,994万5千円
- ・ 初期ダクタイル管の取り替えによる耐震性の向上 1億2,042万9千円



東台小の建て替え後のイメージ



中央保育園と母子生活支援施設三鷹寮の建て替え後のイメージ

バリアフリーのまちづくりプロジェクト

- ・ 北野ハピネスセンターの体育館のバリアフリー化 612万9千円
- ・ バリアフリーの道路整備の推進 2,372万8千円
- ・ 市道第135号線(三鷹駅前通り)の整備 3億2,222万円



「風の散歩道」の整備後のイメージ

子ども・子育て支援プロジェクト

- ・ 子ども手当等の支給 33億6,490万7千円
- ・ 認証保育所等の開設と運営の支援 4億6,252万4千円
- ・ 認可外保育施設等利用者に対する助成 5,000万5千円
- ・ 小・中一貫教育校の充実と発展 9,976万7千円
- ・ 教育支援学級の整備 2,676万8千円
- ・ 出産育児一時金の拡充 1億1,340万円



三鷹教育改革フォーラム

協働のまちづくりプロジェクト

- ・ 第4次基本計画および新たな行財政改革推進計画の策定に向けた取り組み 1,412万8千円
- ・ みたか環境フェスタ2010の開催 430万円
- ・ 家庭系ごみの減量・資源化の推進 7,788万4千円
- ・ エコ野菜地域循環モデル事業の拡充 984万9千円
- ・ 三鷹風景百選(仮称)の選定 250万円
- ・ 花と緑のまちづくりの推進 1億184万7千円



「花と緑のまちづくり」の取り組み

ユビキタス・コミュニティ推進プロジェクト

- ・ 次期基幹系システムの構築 2億7,807万4千円
- ・ 住民基本台帳カードの普及促進 2,061万円

ユビキタス・コミュニティ

「いつでも」「どこでも」「誰でも」が、ICT(情報通信技術)の活用により、くらしの豊かさ、便利さ、楽しさを実感できる地域社会のこと。

市役所1階の住基カード特設申請窓口



基本計画における重点プロジェクト事業など

- ・ 認定農業者育成のための支援 2,950万円
- ・ 緊急雇用創出事業の実施 1億5,617万7千円
- ・ 市内共通商品券事業等への支援 4,007万7千円
- ・ 都市計画道路3・4・7号線(連雀通り)整備の推進 1億8,450万4千円
- ・ みたかバスネットの推進 8,908万4千円
- ・ スーパーエコ庁舎推進事業の実施 4,390万円
- ・ 空きびん・空き缶の戸別収集の拡充 1億5,865万7千円
- ・ 住宅手当緊急特別措置事業の実施 4,368万8千円
- ・ がん検診の拡充 1億7,276万6千円
- ・ 市制施行60周年記念事業の実施 4,063万6千円



市制施行60周年記念事業の統一ロゴマーク

平成22年度の予算案

平成22年度予算案は、市長が施政方針で掲げた4つの中核的な施策を軸に、①第3次基本計画(第2次改定)の着実な推進、②行財政改革の推進および新たな行財政改革推進計画の策定に向けた取り組み、③地域主権の確立に向けた市政運営、の3点を市政運営の基本的な考え方に据えて編成しました。一般会計と特別会計の予算総額は、1,003億5,246万4千円で、前年度予算と比較すると、32億3,564万6千円(3.3%)の増となります。

一般会計の予算額は、644億6,625万1千円で、前年度予算と比較すると、33億811万円(5.4%)の増となっています。これは、子ども手当の支給開始や、医療制度改革の影響による平成20年度分の精算に伴う国民健康保険事業特別会計繰出金の増、定年退職者の増に伴う退職手当の増などによるものです。

特別会計の予算額の合計は、358億8,621万3千円で、前年度予算と比較すると、7,246万4千円(0.2%)の減となっています。これは、介護保険事業特別会計で前年度予算比7億8,486万4千円の増を計上する一方、国民健康保険事業特別会計で前年度予算比8億7,262万3千円の減となることや、下水道事業特別会計で前年度予算比1億5,154万7千円の減となることなどによるものです。

今号ではこうした平成22年度予算案の概要と、第3次基本計画(第2次改定)の7つの最重点プロジェクトを中心にした主な事業の内容をお知らせします。

☎財政課☎内線2126

各会計別の予算額

(単位:千円)

会計	平成22年度 予算額	平成21年度 予算額	増 △減		
一般会計	64,466,251	61,158,141	3,308,110	5.4%	
特別会計	国民健康保険事業特別会計	15,599,891	16,472,514	△872,623	△5.3%
	下水道事業特別会計	3,861,616	4,013,163	△151,547	△3.8%
	老人医療特別会計	5,638	18,281	△12,643	△69.2%
	介護サービス事業特別会計	1,197,043	1,224,820	△27,777	△2.3%
	介護保険事業特別会計	10,102,200	9,317,336	784,864	8.4%
	受託水道事業特別会計	2,088,563	1,904,888	183,675	9.6%
	後期高齢者医療特別会計	3,031,262	3,007,675	23,587	0.8%
合計	35,886,213	35,958,677	△72,464	△0.2%	
総計	100,352,464	97,116,818	3,235,646	3.3%	
純計	92,839,441	90,785,600	2,053,841	2.3%	

※「純計」とは、会計間の重複(繰出金・繰入金)を控除した額です。
※△はマイナス。

一般会計と市税の当初予算額の推移

(単位:百万円)

	平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度	
	金額	前年度比	金額	前年度比	金額	前年度比	金額	前年度比	金額	前年度比
歳入・歳出総額	54,876	△4.0%	56,584	3.1%	57,850	2.2%	61,158	5.7%	64,466	5.4%
うち市税	32,961	1.3%	34,712	5.3%	35,110	1.1%	35,462	1.0%	33,488	△5.6%

※△はマイナス。

「平成22年度施政方針・予算概要」(1冊200円)「平成22年度三鷹市一般会計・特別会計予算及び同説明書」(1冊1,000円)は、相談・情報センター☎内線2215(市役所2階)で販売しています。また、「施政方針・予算概要」は、市のホームページでもご覧いただけます。

※1 %は、一般会計予算額に占める割合を、矢印(↗↘)は、前年度予算と比較した増減の傾向を示しています。
※2 1人当たりの金額は、平成22年度の人口見込み180,000人で割り返した金額です。

一般会計 644億6,625万円 (1人当たり358,146円)

歳出予算

議会費 市議会の運営に

4億7,145万円 ↘
0.7%
(1人当たり2,619円)

総務費 市役所の運営、コミュニティ、文化、安全安心対策などに

85億9,493万円 ↗
13.3%
(1人当たり47,750円)

民生費 社会保障、子育て支援、高齢者・障がい者福祉などに

286億7,029万円 ↗
44.5%
(1人当たり159,279円)

衛生費 健康増進、ごみ処理、公害対策などに

47億9,376万円 ↘
7.4%
(1人当たり26,632円)

土木費 道路、公園整備、緑化対策などに

55億6,574万円 ↗
8.6%
(1人当たり30,921円)

消防費 消防や防災対策などに

22億1,015万円 ↘
3.4%
(1人当たり12,279円)

教育費 小中学校教育、社会教育、スポーツ振興などに

86億1,945万円 ↘
13.4%
(1人当たり47,886円)

公債費 市債(借入金)の返済に

46億1,923万円 ↘
7.2%
(1人当たり25,662円)

その他 消費者・勤労者対策、農業・商工業振興などに

9億2,125万円 ↗
1.5%
(1人当たり5,118円)

歳入予算

市税 みなさんからお預かりする税金

334億8,768万円 ↘
51.9%
(1人当たり186,043円)

各種交付金 使い方が定められていない国・都からの交付金など

27億8,868万円 ↘
4.3%
(1人当たり15,493円)

使用料・手数料、分担金・負担金 保育料やごみ処理手数料など、みなさんに負担していただく収入

16億2,766万円 ↗
2.6%
(1人当たり9,042円)

国庫支出金 使い方が定められている国からの負担金・補助金

93億1,694万円 ↗
14.5%
(1人当たり51,761円)

都支出金 使い方が定められている東京都からの負担金・補助金

63億9,446万円 ↗
9.9%
(1人当たり35,525円)

繰入金 基金(貯金)のとりくずしなど

39億8,508万円 ↗
6.2%
(1人当たり22,139円)

市債 建設事業などのための借入金

41億円 ↗
6.4%
(1人当たり22,778円)

その他 前年度決算の繰越金や財産売却収入など

27億6,575万円 ↗
4.2%
(1人当たり15,365円)